



巻頭言 「いよいよこれからだ！」 金子昭彦（こどもの国キリスト教会牧師）

先日、十日市場開拓伝道の支援会設立総会がもたれ、正式に支援会が発足したことを心から神さまに感謝する者です。このビジョンを聞いた時から、お手伝いをさせていただいた者としても、神さまの導きを実感しています。これからも神さまのご支配があることを確信し、委ねていきたいと思えます。先日の総会に出席できなかったことがまことに残念ですが、後にその議事録を見て、なんと祝福された総会であったかと、神さまを賛美しました。

ですから、「いよいよこれからだ！」という思いを私は強くさせられています。私が仕えているこどもの国キリスト教会は、いわゆる「この指止まれ」方式の開拓伝道で生まれた初めての教会です。初めの計画よりは少し時間がかかりましたが、今年か来年には、目標だった、教会堂のための教会債の償還が完了する見通しです。また、八王子みなみ野開拓伝道は、先に初めの計画のゴールを迎えると聞いています。それで、今度は十日市場、「いよいよこれからだ！」という気持ちが起こされているのでしょう。

しかし、こどもの国キリスト教会では、開拓15年目の教会の現状と、これまでの歩みをふり返った時、やはり初めには想定していなかったいろいろな困難や課

題というプレゼントを神さまからいただいているという思いがあります。みなみ野キリスト教会においても同様ではないでしょうか。このような経験は、誰にとっても時にはとまどい、時には悔やむような思いになることがあります。そしてそのような思いが、これからの教会の歩みに対しても、意欲を失わせる危険を感じます。しかしだからこそ、そのような敵に立ち向かい、主に信頼していかなければならないのです。

「いよいよこれからだ！」という十日市場開拓伝道についても、いたずらに恐れる必要はないと思えますが、一つの教会が建て上げられていく時は、外とも内とも戦っていくことになるでしょう。そんなことはあたりまえのことだと言われるかもしれません。しかし、夢と希望が先行しやすい開拓伝道の初めの時期から、それは祈りの中に置いておかなければならないのではないのでしょうか。建物や土地が与えられることを具体的な目標にして祈っていくとともに、生まれ、建っていく教会の中身も、神さまが造り上げてくださるように祈っていかなければなりません。それは、今開拓伝道に遣わされた宣教師や信徒の方々だけではなく、支援するすべての者の祈りであると思えます。



○「トオカイチバ」はじめました！

主の御名が崇められますように。

5月25日土曜日に、横浜市緑区にある中山キリスト教会を会場として、十日市場開拓伝道支援会の設立総会が行われました。昨年8月より諸教会に参加を呼びかけて参りました結果、準備委員会の予想を上回る30の教会・団体の参加をいただき、正式に十日市場開拓伝道が始まりました。「トオカイチバ」とはどこにあるのかわからない教会も多いでしょうに、JECAの三関東地区諸教会の参加をいただいたことは、大きな励みです。感謝申し上げます。また、今回は参加を見送ったけれども、祈ってくださる教会があることも存じております。続けてお祈りいただけると心強いです。

○献金のお願い

そして、私たち支援会は、この開拓伝道をすすめていくための必要が満たされることを主に祈り求めております。諸教会におかれましては、様々な必要があり、重荷もそれぞれ抱えていらっしゃることを承知しております。主の御名が崇められるために私たちのJECAにひとつの教会が生み出され、宣教のわがが前進していることを覚えていただき、献金の面でもご協力をいただけると幸いです。具体的には、今年度予算は1330万円です。別紙にて「献金のお願い」をお送りします。どうか、ご一読いただいただけますようお願い申し上げます。

支援委員会委員長 野村卓一（上作延キリスト教会牧師）

